

「生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方に関する検討会」主な論点（案）

課題設定

○対象となる高齢者をどのように設定するか

○現状と課題をどのように見るか

《地域側の観点から》

- ・ 高齢者の高い能力と就業意欲をどのように活かすか
- ・ 地域の高齢者の就労に対するニーズはどのようなところにあるか、あり得るか（＝地域のニーズをどのような領域・職種に見いだすか）
- ・ 高齢者の就労に対するニーズを十分掘り起こすことはできているか

《高齢者側の観点から》

- ・ 高齢者は退職後の社会参加活動（特に「就業」）に何を求めているか
- ・ 高齢者が地域で就労する強みは何か
- ・ 高齢者の就業の制約となっている要因としてどのようなものがあるか

《双方の観点から》

- ・ 就業が高齢者の健康、生きがいづくりにどのような効果をもたらすか
- ・ 高齢者の就業が地域にどのようなメリットをもたらすか

解決策

○地域のニーズと高齢者のニーズを結び付ける仕組みをどのように構成するか

- ・ 既存の組織や、新規に考えられる組織形態、位置付け
- ・ 行政機関の役割

○就業機会の発掘、確保策としてどのようなものが考えられるか

- ・ 地域の「仕事」探しの着眼点
- ・ 行政機関の役割

○高齢者を就業機会へどのように結び付けるか

- ・ 地域の求める人材像の整理
- ・ 高齢者への啓発、意識改革
- ・ 最適マッチング実現方法

○高齢者への相談対応の在り方はどのようなものが望まれるか

- ・ 退職後の就業に関する一元的な相談体制に必要なもの